

平成22年度 決算の状況



平成22年度の市の予算は、3月31日で会計年度を終了し、未払金や未収金を整理する期間を経て、5月31日で、すべての支払いや収入を終えました。

今号では、平成22年度決算での市の台所事情について、表やグラフを使って、わかりやすくお知らせします。

平成22年度の 市の台所事情はどうだったの？

市には、一般会計と8つの特別会計があります。

このうち、一般会計は、税金などを中心とした使い道が決められていない一般的な収入とそれらの収入によって賄う支出を経理する会計です。

また、特別会計は、保険料や使用料など特別な収入とそれら特別な収入によって賄うことが決められている支出を経理する会計です。

一般会計と8つの特別会計の平成22年度の決算状況は次のとおりです。



会計区分		収入	支出	収支
一	一般会計	196億4,606万円	189億1,565万円	7億3,041万円
特別会計	国民健康保険特別会計	68億3,368万円	64億1,550万円	4億1,819万円
	学校給食事業特別会計	3億5,349万円	3億5,339万円	10万円
	公共下水道事業特別会計	26億2,895万円	26億2,693万円	201万円
	老人保健特別会計	1,720万円	1,311万円	409万円
	簡易水道事業特別会計	4,017万円	4,017万円	0円
	介護保険特別会計	29億 476万円	28億1,858万円	8,618万円
	カルルス温泉スキー場事業特別会計	1億1,322万円	1億1,322万円	0円
	後期高齢者医療特別会計	6億1,408万円	6億1,344万円	63万円
	小計	135億 554万円	129億9,434万円	5億1,121万円
	合計	331億5,160万円	319億 999万円	12億4,162万円

※各項目で表示単位未満を四捨五入しているため、積上額や収支が一致しない箇所があります。



平成22年度の決算状況は、全ての会計で、収入が支出を上回り、赤字は生じていません。

収入が支出を下回り、その年度の収入で支出を賄い切れない自治体では、次の年度の収入の一部で、その年度の支出を賄う場合もあります。

しかし、登別市では、9つの会計の合計で、12億4,162万円の黒字が生じており、平成22年度も昨年度に引き続き、健全な状態を維持しました。